

中央大学ボランティアセンター2016年度 年間スケジュール表

実施月	項目・企画	実施場所
通年	多摩地域ボランティア 子ども・福祉・環境・農業など様々 スキルアップ ボラカフェ(ボランティアについて気軽に話す場)	
4月	学内イベント 被災地支援学生団体ネットワーク活動説明会 学内ボランティア 献血 スキルアップ AED講習会	多摩キャンパス 多摩キャンパス中央ステージ 多摩キャンパス
5月	学内イベント ボランティア写真展 多摩地域ボランティア 伝統の祭り「ひの新選組まつり」ボランティア 学内ボランティア クリーン作戦(ゴミ拾いボランティア) 学内ボランティア 献血 スキルアップ AED講習会	多摩キャンパス中央図書館1階 日野市、高幡不動尊周辺 多摩キャンパス周辺 多摩キャンパス中央ステージ 多摩キャンパス
6月	多摩地域ボランティア 子どもと遊ぶ「みんなの遊・友ランド」ボランティア 学内ボランティア 献血 スキルアップ 公務員になりたい人のための「ボランティア講座」 スキルアップ 理工オリエンテーション「ボランティア講座」 スキルアップ AED講習会	日野市 多摩キャンパス中央ステージ 多摩キャンパス 後楽園キャンパス 多摩キャンパス
7月	学内イベント 被災地支援学生団体ネットワーク決起会	多摩キャンパス
8月	スキルアップ 災害救援ボランティア講座	Cスクエア、立川防災館
8-9月	東北ボランティア 夏季ボランティア	岩手県宮古市、宮城県気仙沼市、女川町等
10月	学内イベント ボランティア写真展・夏ボラ報告会 多摩地域ボランティア 障がい者運動会「みんなといっしょの運動会」ボランティア 学内ボランティア 献血 スキルアップ 理工オリエンテーション「ボランティア講座」 スキルアップ AED講習会	多摩キャンパス中央図書館1階 多摩キャンパス体育館 多摩キャンパス中央ステージ 後楽園キャンパス 多摩キャンパス
10-11月	学内イベント 白門祭	多摩キャンパス
11月	学内ボランティア クリーン作戦(ゴミ拾いボランティア) 学内ボランティア 献血 スキルアップ AED講習会	多摩キャンパス周辺 多摩キャンパス中央ステージ 多摩キャンパス
12月	東北ボランティア 冬季ボランティア ボランティアイベント 中央大学ボランティアセンターシンポジウム	宮城県気仙沼市、女川町等 多摩キャンパスCスクエア
1月	学内ボランティア 献血	多摩キャンパス中央ステージ
2月	ボランティアイベント 大学生ボランティア写真展&防災イベント スキルアップ ボランティア講座	日野市 多摩キャンパス
2-3月	東北ボランティア 春季ボランティア	岩手県宮古市、宮城県気仙沼市、女川町等



2016



- はまぎくのつぼみ
- はまらいんや
- 面瀬学習支援
- チーム女川
- チーム防災・地域ボランティア紹介
- 年間スケジュール



中央大学ボランティアセンター

被災地支援学生団体ネットワーク 紹介冊子

発行者/中央大学ボランティアセンター 発行日/2016年4月1日

※ボランティア情報は、公式webページ、C plus、掲示板、メール、リスト、Facebook、Twitter等でお知らせします。
 ※なお、企画実施の有無を含め、日程は変更となる場合があります。

ボランティアセンター

の 紹介

専門のコーディネーターが常駐する「中央大学ボランティアセンター」ではボランティアをしたい学生のサポートをします。東日本大震災被災地支援活動や、地域防災リーダーの育成、大学近隣のボランティア活動をはじめ、国内外のNPO/NGOの紹介や様々なボランティア活動など、より多くの学生がボランティアを通じて多様な社会と向き合うことを支援していきます。

ボランティアを一緒に探そう!

ボランティアセンター窓口にご相談ください。また、センターから学内外のボランティア情報を発信しているボランティアメーリングリストへの登録も勧めています。

※そのほか、サークルでの特技を生かしたい、ボランティアの団体運営に悩んでいる方は、コーディネーターへご連絡ください。

メーリングリストに登録しよう!

学内外のボランティア情報をいち早くお届けします。

登録を希望する方は、ボランティアセンターのHPから登録してください。

<http://www.chuo-u.ac.jp/usr/volunteer/candidate/can03/>

※登録するアドレスは、大学からのメール（～@tamajs.chuo-u.ac.jp）が必ず届くように設定してください。



ボラカフェ お昼休みにオープンしています!

ボランティアについて、カフェにいるように気軽に話せる場「ボラカフェ」。

お昼休みの時間に行うので、ぜひランチしながらお茶飲みながら、いろんな話をしませんか?

テーマは色々ですが、学生の皆さんが「こんな活動してこんなことを感じた」「これについて皆と話したい!」などなど、この場を使って話題提供したい、話したいという方も大募集しています。

お茶と飲み物もあります♪ ぜひ一緒にほっこりしませんか?



問い合わせ先 中央大学ボランティアセンター

場 所：多摩キャンパス6号館地下1階 学生課内

開室時間：平日 9:00～17:00

TEL：042-674-3487 FAX：042-674-3469

E-mail：chuo_volunteer@tamajs.chuo-u.ac.jp

URL：http://www.chuo-u.ac.jp/usr/volunteer/

はまぎくのつぼみ

はまぎく魂は宮古と共に ～つながりの創造～

理念

私たち「はまぎくのつぼみ」は岩手県宮古市を拠点として活動しています。「はまぎく」とは宮古市の花であり、花言葉は「逆境に立ち向かう」です。宮古市は過去に数回津波の被害を受けてきましたが、その度に立ち上がり、東日本大震災にも屈することなく、復興を遂げようとしています。団体メンバーひとりひとりが「宮古の未来のために学生の自分たちには何ができるのか」を真剣に考え、自分の意見を出してみんなで話し合い、復興のお手伝いをしています。「つぼみ」は団体メンバーや活動参加者ひとりひとりを表しています。一人の力は小さなものですが、みんなの力を合わせることで、いつの日か宮古に満開の花が沢山咲くことを願っている、という思いがこの団体名に込められています。

現在、震災から年月が経ち、復興への思いや防災の大切さも風化してきています。私たちは、現地で震災当時や現在の復興の状況、防災について学んだり、学童の子どもたちと触れ合ったりし、それを写真展や報告会などで発信することで、震災を忘れることなく将来に繋げていきたいと思っています。このような思いを忘れず、支援して下さる方々への感謝とともに、私たちは活動しています。



学童の子どもたちとのいろんな遊び



学習や宿題支援も

活動内容

私たちの活動は、現地で行う活動と東京での日々の活動と大きく二つに分けられます。

〈現地での活動〉

主に春と夏の2回行います。

- 仮設住宅支援…ご年配の方々との交流(仮設住宅撤退に伴い変更予定)
- 学童保育支援…子どもたちの学習支援とふれあい
- 田老「学ぶ防災」…田老地区の防潮堤やまちづくり、津波被害の教訓の学習(現地の方にガイドをしていただきます)

〈東京での活動〉

- 岩手復興支援物産展…中大生協や外部商業施設での岩手の特産品販売(震災の風化防止、被災地への経済的支援を兼ねて行います)



仮設住宅を訪問して交流



大学内生協での物産展

代表学生より一言

多くの方が仮設住宅から災害公営住宅へと移り、少しずつ日常を取り戻しつつあります。それでもまだ東北全体としての復旧はこれからです。震災から5年経った今、私たちは現地での活動だけではなく、発信活動など東京でもできることも大切にしています。

メンバーはサークルやアルバイトと両立して活動していますし、岩手や宮古が好き、東北の復興に携わりたい、などの気持ちがあれば十分です。皆さん、ぜひ一緒に活動しましょう!

団体構成

メンバー数	16人(4年生3人、3年生3人、2年生10人)
活動場所	岩手県宮古市、中央大学生協
活動時期	春・夏・冬の長期休暇
ミーティング	週1日

団体連絡先

E-mail join.hamagiku@gmail.com

Twitter @chuomiyako



ボランティアセンタールームでのミーティング風景

はまらいんや

人の復興を目指す「コミュニティ支援」

理念

当団体は活動の理念として以下の2つを掲げています。

- 住民の方々の“今日を生ききる力”となること
- 人と暮らしと地域に焦点を当てた“人間主役のボランティア”であること

この2つの文章を読んだだけで私たちが目的としている活動を理解することは難しいでしょう。しかし、人間には想像し共感する力があります。完全に孤立した状況の中、人は一人で生きていけるでしょうか？病気や障がいを抱えたとき、一人で日常生活を営むことが出来るでしょうか？深い悲しみを誰にもわかってもらえない苦しみの中、毎日を楽しむことが出来るでしょうか？

これらの事がどんなに困難で、他の人のサポートを必要とすることで容易に想像がつくと思います。ただそういった環境を築くことが困難な状況が続いています。震災から5年がたった今、被災地にはまだ苦しみの中にいらっしゃる人が多くいます。

当団体はそのような人々に寄り添いながら、その人の暮らしやその人自身、地域に目を配り、その人らしくいられるコミュニティづくりを目指し今後も活動を続けていきます。

活動内容

当団体は宮城県気仙沼市の面瀬仮設住宅で「コミュニティ支援」を行っています。

「コミュニティ支援」とは、仮設住宅に住む方々同士の新しいコミュニティの形成、維持ができるようサポートする活動のことです。学生である私たちがやるからこそ効果的である活動とも言えます。

具体的にはお茶会やレクリエーション、戸別訪問といった活動を通じてコミュニケーションをとるということを行っています。それによって信頼関係を築きながら不安に寄り添い、住民の方々の“今日を生ききる力”となれるように活動しています。

代表学生より一言

ボランティアは、有志です。「力になりたい。自分に何かできることはないか」その気持ちが一番大切です。しかし、気持ちがあるだけではだめで、まずは相手のニーズを知るところから、ボランティアははじまります。その個々人のニーズの裏には、被災された方々の心に負った深い痛みや不安があり、そして震災で顕著になったにも関わらず見過ごされてきた社会の問題があります。ボランティアを通して生の社会に入り、現場で問題と向き合う。その「行き学び」は自らを大きく成長させ、大学の中にもいるだけでは得られない、新たな価値観を育ててくれます。



仮設住宅で地域の方々との触れ合い



夏祭りの運営をお手伝い



子どもたちとの交流も楽しみ



皆さんで楽しむお茶会



活動中は毎日ミーティングで振り返り

団体構成

メンバー数	13人(大学院生1人、4年生2人、3年生4人、2年生4人)
活動場所	宮城県気仙沼市面瀬中学校仮設住宅
活動時期	春、夏、冬の長期休暇
ミーティング	週1~3日(不定期)

団体連絡先

E-mail hamarainya@gmail.com

面瀬学習支援

共に学び、共に描く、ふるさとの未来図

理念

学校とも家庭とも違う子どもたちのための場を開く

子どもたちにとって私たち大学生は、教師とも家族友達とも違う、気仙沼では普段かかわることのない存在です。そんな私たちの立場を生かし、震災を経験した子どもたちのくつろぎの場、学びの場、成長の場を創ることを目指します。

子どもたちの将来の選択肢の幅を広げ、気仙沼・面瀬の未来の担い手を育む

私たちが関わる子どもたちは、自分が育った地域を愛し、たとえそこを離れても震災を経験した地域を思って働きかけるような、面瀬・気仙沼の担い手となるような存在です。子どもたちが故郷で震災の悲しみを越えるような楽しい思い出を作り、魅力を知り、考え、思いを持つお手伝いをします。

震災から5年が経ち、東北の状況は変わり、子どもたちの周りの環境や自身の様子も変化し、多様化しています。震災の捉え方も子どもによって変わってきています。それに伴い、私たちがすべきことも変わっていきます。しかし、震災を経験した地域にとって、子どもたちが希望の存在であることは今までも、そしてこれからも変わりません。私たちは2つの理念をもとに、その時々子どもたちに合わせた活動を考え、行っていきます。



学習支援の様子



地域の美味しい野菜を収穫

活動内容

私たちは2つの理念をもとに、面瀬の小学生を対象に宿題指導と体験学習を行っています。宿題指導では長期休業中の学校の宿題と一緒に取り組みます。休憩時には学年を越えみんなで思い切り遊び、時にはゆっくり話し、子どもたちとの交流を深めます。体験学習では気仙沼の大人たちを講師に招いて様々な視点から地域を学ぶことを目指し、過去には面瀬のクイズをみんなで解くクイズラリーや竹を使った豆鉄砲作り、畑で採れた野菜を収穫して料理する野菜収穫活動などを行いました。このような活動を通し、継続的に現地の子どもたちと関わっています。



畑で採れた野菜を使って皆で調理

代表学生より一言

私たちの団体の一番の特徴は、子どもを対象にしていることです。子どもの笑顔や元気は周りにも活力をもたらしてくれるものだと思います。継続的な活動によりそんな子どもたちの成長を見ることができ、何度も会いに来てくれる子どもたちがいることが、私たちがよりよい活動を目指す一番のモチベーションになっています。継続的に気仙沼の復興と子どもたちの成長に寄り添い、一緒に子どもたちの将来、気仙沼の未来を考えていきたいと思います。

団体構成

メンバー数	24人(4年生5人、3年生6人、2年生9人)
活動場所	宮城県気仙沼市面瀬地区
活動時期	長期休暇中に1週間程度、現地で活動
ミーティング	週1~2日

団体連絡先

E-mail omose.chuo.v@gmail.com



勉強の合間には皆でゲーム



地元の方を講師に豆鉄砲づくり

チーム女川

大好きな女川を伝えたい

理念

●復興の歩みの一歩先を見つめ、女川の人たちの声に寄り添いともに歩む

東日本大震災から5年の歳月が経過し、私たちが活動する宮城県女川町は復興へ向かう途中にあります。時の経過とともに町の方々のニーズも変化していますが、常に女川の方々との対話の中から自分たちには何が出来るのか考えることを心掛けています。そのことから、女川町の魅力を学内外の様々な人に伝えることや、女川の震災から復興への道のりを伝えていくことを主な活動目的としています。そのために女川町の方々、一人一人の思いや考えを聴き、その言葉を大切にしながら町についての理解を深め、魅力溢れる女川町を「発信」していくことにつなげています。

●私たちが学んでいること、生活の場を基盤に個性を活かした活動を行う

女川における現地での活動に加えて、メンバー各々の大学生活を通して得たことを積極的に活動の中で活かせる機会として、東京での活動も頻繁に行っています。また活動で得たことを再び学びに還元するためにも、お互いの意見や情報を交換することも大切にしています。

活動内容

主な活動は募った参加者と共に女川町を訪れ、町の現状を自分の目で見て感じ、現地の方からお話を伺うことで、震災や復興について考えてもらう『被災地スタディーツアー』を企画し開催することです。また、東京で女川町観光協会がお祭りや物産展に出店する際のスタッフ活動や、白門祭での女川の郷土料理の販売を通して、女川の魅力を発信する活動を行っています。その他にも現地でのヒアリング活動や、講師をお招きしての勉強会を行い、各個人が独りよがりな活動にならず、女川町の実情にそった活動が行えるよう努めています。

代表学生より一言

女川町は東日本大震災で甚大な被害を受けました。あれから5年が経ち、流出した駅舎が新しく建てられたり、駅前に商店街ができてきたりとまちづくりが進んでいます。しかし復興はまだ終わっておらず、その進捗は地域によって大きく異なります。その中で、震災を“過去”のことにしないために、今できることは何なのかを考えながら、女川町の復興の“今”と“これから”を伝え続けていきたいと思っています。

団体構成

メンバー数	10人(4年生7人、3年生2人、2年生1人)
活動場所	宮城県牡鹿郡女川町
活動時期	春、夏の長期休暇
ミーティング	週1日



炭火で女川名物さんまとホタテを焼く



白門祭にてさんまのつみれ汁の販売



スタディーツアーで現地の方からお話を聞く



山から見た女川町の景色

団体連絡先

E-mail chuo_volunteer@tamajs.chuo-u.ac.jp
Facebook <https://www.facebook.com/teamonagawa>

チーム防災

私たち「チーム防災」は、地域の防災力向上を目指しています。災害時に助け合える地域づくりのため、住民一人ひとりの防災意識を高め、主体的に行動できる人を増やすための活動を行っています。

具体的な活動の一つが、「避難所運営ゲーム(HUG)」の運営です。HUGとは、災害時の避難所運営を想定し、押し寄せる避難者や発生する問題に次々と対応していくことで、防災意識を高めるゲームです。昨年度は学内に加え、日野市のイオンモールで行われた防災イベントにおいて、HUGを実施しました。

その他にも、近隣地域での防災訓練・勉強会への参加、ゲーム感覚で防災について学べる「カエルキャラバン」の実施など、地域の防災に関する様々な活動を行っています。

現在、チーム防災のメンバーは4年生4名のため、今後の活動を引き継いでくれるメンバーを募集しています。「災害」や「ボランティア」と聞くと、被災地で支援活動、というイメージが強いかもしれませんが、私たちの活動の場は学内や大学周辺地域が中心です。身近なところから、防災にかかわってみませんか？



地域ボランティアで地元の魅力を発見しよう！

ボランティアセンターでは、キャンパス周辺地域でのボランティア活動を推進しています。環境保全、農作業をはじめとする活動から、子どもやお年寄り、障がいのある方々との活動など、大学生の力が必要とされるボランティア活動は数多くあります。ぜひ一緒に地域を盛り上げませんか？

★ボランティア情報は、メーリングリストや掲示板、Facebook、Twitterでお知らせします。

大学生が地域の力に！



身近なところで気軽にボランティア始めてみよう！



ゴミ拾い活動「中央大学クリーン作戦」の参加者募集

大学構内や周辺のゴミ拾い活動・クリーン作戦。「ゴミを拾うことで目に見えて地域が綺麗になっていく手応えが感じられる」「一緒にゴミを拾うことで仲間との達成感が味わえる」など、楽しさが口コミで広がり、少しずつ仲間が増えていきます。

お隣りの明星大学生と協働で実施したり、地域の皆さんと交流しながら実施したり、学年学部、大学や世代を越えた学生や地域の方々との新たな出会いや刺激も魅力のひとつです。

【開催日】年2回(春と秋)実施、不定期で昼休み(クリーン作戦・ミニッツ)にも実施

★開催日時情報は、メーリングリストや掲示板、Facebook、Twitterなどでお知らせします。